



2021年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社イデアインターナショナル
 コード番号 3140 URL <http://www.idea-in.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営情報部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 森 正人
 (氏名) 松原 元成
 TEL 03-5446-9505

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の連結業績(2020年7月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	8,363	6.5	721	405.1	569		327	
2020年6月期第2四半期	7,849	6.1	142	51.8	34		108	

(注) 包括利益 2021年6月期第2四半期 314百万円 (%) 2020年6月期第2四半期 95百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	22.81	
2020年6月期第2四半期	7.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第2四半期	9,758	4,560	46.7
2020年6月期	9,907	4,302	43.4

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 4,560百万円 2020年6月期 4,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期		0.00		4.00	4.00
2021年6月期		0.00			
2021年6月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,700	2.8	500	33.0	255	50.7	105	44.6	7.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期2Q	14,717,350 株	2020年6月期	14,717,350 株
期末自己株式数	2021年6月期2Q	374,715 株	2020年6月期	374,715 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年6月期2Q	14,342,635 株	2020年6月期2Q	14,342,635 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2021年6月期第2四半期連結累計期間(2020年7月1日～2020年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の脅威が年末に至っても衰えず、世の中は新しいワークスタイルや生活様式によりウィズコロナの中で感染予防と経済活動の両立に動き出しているものの、消費を中心とした内外需要の縮小による企業活動への打撃は大きく、先行きは依然として極めて不透明な状況にあります。

このような状況のなか、当グループの売上高につきましては、卸販売、直営店販売、Eコマース販売の3つの販路を展開するリスク分散戦略が功を奏しております。コロナ禍において直営店舗の売上が前年同期に比べて減少するものの、Eコマース販売が「巣籠り需要」を取り込むことで売上を大幅に拡大し、直営店舗の売上減少分を補いました。

インテリア商品ブランド「ブルーノ」は、キッチン家電は主力であるコンパクトホットプレートの売上が前年を大きく上回り、マルチスティックブレンダーや新商品のスチームベイクトースター等も好調に売上を伸ばしました。また、新型コロナウイルス感染症対策としての需要の高まりから加湿器が売上を伸ばし、ふとんドライヤーやハンディスチーマー等も売上に貢献しました。海外販売においては、香港・台湾への販売が引き続き好調に推移し、2020年9月から販売開始した北米への販売はコンパクトホットプレートが予約時点で完売するなど今後も販売の期待が持てる結果となり、売上を伸ばすことができました。これらの結果として「ブルーノ」の売上高は前年同期比146%と大きく伸ばいたしました。

トラベル商品ブランド「ミレスト」は、近場へのお出かけなどウィズコロナという新しい生活様式に対応するべく、小型バッグやPC収納ケースなどを販売し、トラベル以外の用途への訴求で売上回復を図りました。しかしながら、空港内直営店舗は引き続き休業を余儀なくされるなどコロナ感染拡大の影響が大きく、売上は前年同期比45%となりました。

これらの結果として、当グループの第2四半期連結累計期間の売上高は、同期間における過去最高の8,363百万円(前年同期は7,849百万円)となりました。

利益につきましては、粗利率の高い自社商品ブランド「ブルーノ」の売上高が前年同期比146%、営業利益率の高いEコマース販売の売上高が前年同期比194%と拡大したこと、本社従業員のテレワーク勤務推進による固定費削減効果もあり、営業利益は721百万円(前年同期は142百万円)となりました。また経常利益は、株主優待関連費用が発生したものの569百万円(前年同期は34百万円の損失)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、327百万円(前年同期は108百万円の損失)となりました。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも第2四半期連結累計期間において過去最高となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

住関連ライフスタイル商品製造卸売事業は、当社卸販売におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により店舗を有する得意先への売上が減少いたしました。Eコマース販売を主とする得意先への売上が拡大したことから、卸販売の売上高は前年同期比118%と拡大いたしました。また子会社のシカタ社におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、バッグのOEM販売、オリジナルブランドの売上が減少したことにより、シカタ社の売上高は前年同期比82%となりました。結果として売上高は4,922百万円(前年同期は4,764百万円)、営業利益は850百万円(前年同期は598百万円)となりました。

住関連ライフスタイル商品小売事業は、Eコマース販売におきまして、引き続きコロナ禍における「巣籠り需要」の追い風もあり、コンパクトホットプレートを始めとするキッチン家電が好調に推移しました。また「ブルーノ」のファンサイト開設やメディアでの露出効果によりブランド認知度が高まったこと、Amazonや楽天などのモールサイトでの売上が大きく伸ばしたこと等により、Eコマースの売上高は前年同期比194%となりました。直営店舗におきましては、トラベル店舗がトラベル需要の回復の遅れにより苦戦したものの、自社キッチン家電商品を中心とする「ブルーノ」店舗においてはSNSや広告による集客効果等によりキッチン家電や加湿器等のシーズン家電の販売が好調に推移、また新たに11月に1店舗を新規出店いたしました。これらの結果として、売上高は3,428百万円(前年同期は3,072百万円)、営業利益は395百万円(前年同期は112百万円)となりました。

デザイン事業においては、売上高は12百万円(前年同期は12百万円)、営業利益は12百万円(前年同期は12百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、9,758百万円（前連結会計年度末は9,907百万円）となり、149百万円減少しました。

流動資産は、7,862百万円（前連結会計年度末は7,947百万円）となり、84百万円減少しました。これは借入金の返済等による現預金の減少（530百万円）と、売掛債権の増加（131百万円）、商品及び製品の増加（73百万円）等があったことによるものであります。

固定資産は、1,895百万円（前連結会計年度末は1,959百万円）となり、64百万円減少しました。これは有形固定資産の減少（31百万円）と、無形固定資産の減少（40百万円）、投資その他の資産の増加（8百万円）があったことによるものです。

流動負債は、3,804百万円（前連結会計年度末は4,461百万円）となり、656百万円減少しました。これは短期借入金の減少（835百万円）、未払法人税等の増加（140百万円）等があったことによるものであります。

固定負債は、1,393百万円（前連結会計年度末は1,143百万円）となり、250百万円増加しました。これは長期借入金の増加（248百万円）等があったことによるものであります。

純資産は、4,560百万円（前連結会計年度末は4,302百万円）となり、257百万円増加しました。これは利益剰余金の増加（269百万円）等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年8月11日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,637	2,106
受取手形及び売掛金	2,051	2,182
商品及び製品	2,216	2,289
その他	1,052	1,294
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	7,947	7,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	322	327
土地	290	290
その他(純額)	162	125
有形固定資産合計	774	743
無形固定資産		
のれん	556	521
その他	92	86
無形固定資産合計	649	608
投資その他の資産		
投資その他の資産	553	561
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	535	543
固定資産合計	1,959	1,895
繰延資産	0	—
資産合計	9,907	9,758
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	999	668
短期借入金	2,102	1,267
1年内返済予定の長期借入金	545	487
未払法人税等	107	248
引当金	77	78
その他	629	1,055
流動負債合計	4,461	3,804
固定負債		
長期借入金	919	1,168
退職給付に係る負債	160	169
その他	62	55
固定負債合計	1,143	1,393
負債合計	5,604	5,197

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,509	1,509
資本剰余金	1,818	1,818
利益剰余金	1,049	1,319
自己株式	△82	△82
株主資本合計	4,295	4,565
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	9	△1
為替換算調整勘定	△1	△3
その他の包括利益累計額合計	7	△4
純資産合計	4,302	4,560
負債純資産合計	9,907	9,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年12月31日)
売上高	7,849	8,363
売上原価	4,756	4,657
売上総利益	3,093	3,705
返品調整引当金戻入額	13	8
返品調整引当金繰入額	10	8
差引売上総利益	3,095	3,705
販売費及び一般管理費	2,952	2,983
営業利益	142	721
営業外収益		
為替差益	2	2
その他	5	5
営業外収益合計	8	8
営業外費用		
株主関連費用	140	108
その他	45	52
営業外費用合計	185	160
経常利益又は経常損失(△)	△34	569
特別損失		
減損損失	4	13
固定資産除却損	5	0
工場閉鎖損失	14	—
その他	0	0
特別損失合計	23	13
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△57	555
法人税、住民税及び事業税	32	215
法人税等調整額	18	12
法人税等合計	51	228
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△108	327
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△108	327

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△108	327
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	12	△10
為替換算調整勘定	1	△1
その他の包括利益合計	13	△12
四半期包括利益	△95	314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△95	314

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。